

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	生物多様性及び生態系サービスに関する科学政策プラットフォーム推進費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室 / 生物多様性センター		室長 奥田直久 / センター長 奥山正樹		
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	[1] 生物多様性及び生態系サービスに関する科学政策プラットフォーム(IPBES) [2] 生物多様性国家戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	生物多様性及び生態系サービスに関する科学政策プラットフォーム(IPBES)は、生物多様性と生態系サービスに関する動向を科学的に評価し、科学と政策のつながりを強化する政府間のプラットフォームとして、2012年4月に設立された。本枠組みに基づき、日本国内において新たにJPBESを推進し、多領域(生態学、社会・経済学、コミュニティ・伝統的知識等)の知見から、生物多様性と生態系サービスの評価・予測を行い、政策立案に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	[1] 自然科学、社会科学の専門家から構成する検討委員会を設置し、各種の情報基盤(社会・経済的変動予測、温暖化の評価・予測等)を活用して、生物多様性・生態系サービスの評価・予測を行う。 [2] 社会・経済的状況の動向を踏まえ、既存の観測データ、調査結果を収集・統合し、生物多様性・生態系サービスに資する情報基盤を整備する。 [3] 生物多様性及び生態系サービスに関する科学政策プラットフォーム(IPBES)、地球規模生物多様性情報機構(GBIF)の会議へ専門家を派遣し、評価・予測の進捗や成果を公表する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	47	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	47	
		執行額	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	生物多様性及び生態系サービスの評価・予測を行い、政策立案に資する事業であり、定量的な数値目標の設定は困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	生物多様性及び生態系サービスの評価・予測について取りまとめた調査報告書。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
					-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	47 (百万円/件)		算出根拠	予算要求額÷事業実施(予定)数				
平成24-25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	-	47	-				
	計	-	47					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	生物多様性の保全に関わる事業であり、その影響は直接国民に及ぶ。本事業は、政府レベルの国際的業務であり、国が実施すべき。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	IPBESの活動は地域性が重視されており、アジア・太平洋地域における限られた先進国として、日本のリーダーシップが求められている。生物多様性条約COP10の議長国として、生物多様性と生態系サービスの評価・予測を先導的に推進し、国内外の政策立案に資するために必要な経費である。		
予算監視・効率化チームの所見			
		COP10の議長国として、生物多様性及び生態系サービスの評価・予測事業を先導的に推進することは大変重要であるが、効率的かつ効果的な事業実施に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-